

NPO 法人原子分子データ応用フォーラム 平成 23 年度定期総会議事録

日時：平成 23 年 6 月 22 日 13：30－16：00

場所：核融合科学研究所 研究 1 期棟 4 階 401 号室

正会員 24 名

出席 11 名 佐々木 (JAEA)、鈴木 (NIFS)、田沼 (首都大)、富田 (NIFS)、小池 (北里大)、Pichl (ICU)、池田 (アテナシス)、田辺、坂上 (NIFS)、田中 (ペガサス)、加藤太 (NIFS)、加藤隆子

委任状 7+1 名

書面評決 1 名

議長 佐々木

書記 加藤太

署名人 田沼肇、坂上裕之

H22 年度事業報告 (鈴木)

(富田) 事業の実施に関するリストの記載は、時系列にしないのか？

そのように修正する。

(田沼) 依頼があれば協賛するのか？原子衝突研究協会でも依頼すればよいのか？そのように働きかけるつもり。

お願いします。

(田沼) 受益対象者数をどう評価するのか？厳密なチェックがあるのか？

もっともらしい数字である必要がある。

(田辺) フォーマットが違うので分からない。

第 1 号議案 承認

H22 年度事業会計収支、事業財産目録報告、貸借対照表 (鈴木)

(田沼) 大口寄付はどなたから？

加藤隆子先生からです。

昨年度収益事業を行っていないので、法人税減免 (ゼロ) になった。今期支払なし。

(田辺) 監査報告

第 2 号議案 承認

H23 年度 (H23/4/1～H24/3/31) 事業計画の説明 (鈴木)

(小池) 「原子分子データ応用セミナー」の講演資料集及び CD の製作 (200 部)、について支出見込みがゼロなのはおかしい。

(田中) HP からダウンロードすればよい。費用は発生しない。

講演資料は HP での公開を想定している。200 部→200 人に修正。支出見込み額：セミナー開催費用→10 千円、講演資料集→10 千円に修正。

第 3 号議案 承認

H23 年度事業会計収支予算の説明 (鈴木)

第 4 号議案 承認

H23-H24 年度役員候補の説明 (鈴木)

任期：H23/7/1～H25/6/30

理事長 鈴木 (村上) 泉

副理事長 佐々木明

理事 加藤隆子

監事 田辺正孝

役員の再任制限等に関しては今後の検討課題となる。

第 5 号議案 承認

「プラズマシミュレーションに用いるレート係数の推算方法の調査に対する分科会」の設立のための作業部会立ち上げについて

分科会の趣旨説明 (池田)：

- ・ シミュレーションのための不備なデータの補間
- ・ エンドユーザはまとまったデータセットが欲しい
- ・ データセット構築に役立つツールの開発
- ・ 断面積に限らず、速度定数などの推算方法を知りたい。現状の知見を整理したい。
- ・ ユーザーインターフェースをつけたものをツールとして作成したい
- ・ メンバーの紹介 (正会員の中から募集)
- ・ 年 1 回以上の分科会活動の進捗状況の報告を行う

作業部会立ち上げの経緯 (佐々木)：

フォーラムセミナーでの議論がきっかけ

もう少し具体的に突っ込んだ活動が望ましい

活動の方向性を定めきれていないので、先ず、分科会の準備のための作業部会を設置したい

(田中) 具体的な議論がまだない。先ずは作業部会の位置づけでよい。分科会の活動期間 (3 年) も妥当。

(池田) 分からないこともあり、活動の具体的な提案ができない状況

(佐々木) プラズマ原子分子過程ハンドブックの著者をフォーラムで話をうかがうことも考えられる。

(小池) ツールをどのような形で公開するのか？

(池田) ヨーロッパの大学のウェブページで断面積はレート係数の提供例がある。他のウェブでないものを補完したい。著作権が絡む場合には、利用登録、認証システムの導入をする。

(田中) 単一の反応？ガス？

(池田) 励起種の反応断面積の見積もりができればよい。データセットを一括して提供は初めは難しい。

(田中) 現在の NIFS データベースでできるのでは？

(池田) 単一の過程に対して複数のデータが公開されており、エンドユーザはどのデータを使えばよいか分かりにくい。具体化にはエンドユーザの絞り込みがある。

(田中) 産業界に貢献することが大事。作業部会でいろいろ話をするべき。

(田沼) 何を必要としているか？どういう形で提供を望んでいるのか？ということをエンドユーザから具体的に示してほしい。プロセスプラズマのどういうデータが不備なのか分からない。社会貢献として協力していきたい。知り合いの専門家も紹介したい。

(田沼) メールだけのやり取りではなく、顔を合わせて会合を持つ必要がある。秋葉原駅前のオフィスも利用できる (田沼が利用登録すれば無料)。

第6号議案 承認

#### 総合討論

(鈴木) 今年のセミナーは12月に開催したい。大学関係者の都合。昨年度は、素過程研究会と合同であったが、今年度は単独開催にしたい。

(佐々木) 今年度から NIFS 共同研究の研究会の代表者は田沼。

(田沼) 世界的な動向のレビュー (ICAMDATA、ICPEAC など) 出来ないか？ICAMDATA は核融合と天体プラズマが主で、プロセスプラズマが減っている。

(鈴木) 第3回は日立の鈴木から PDP 等の話もあった。だんだん減ってきた。ICAMDATA の国際委員、田中大の後任に鈴木になった。来年の ICAMDATA の講演者の推薦をできる。

(加藤隆) プラズマ原子分子過程ハンドブックが参考になるのでは？

(田沼) 大学の研究者はどういったところを研究するべきかという知見を得たい。

(佐々木) 名大の堀勝？先生の話聞いてみては？

(冨田) 浜口先生にハンドブックをもとに研究動向を伺ってみたい。

(加藤隆) 分科会を盛り上げるような方向で。

(田沼) NPO 法人の活動に負担がどの程度かかったか？

(鈴木) 立ち上げ時の役所周り、書類作成の負担ぐらい。昨年度までは実質的な事業が増えたわけではない。人を雇わない範囲で進めたい。核融合研の共同研究の予算は減額された。

(佐々木) 作業の分担ができず、鈴木に負担が集中している。

(Pichl) この活動で何を行うのか、どのような成果が期待されているのかを知りたい。

(鈴木) 現状では、具体的な活動がない。そのために分科会の立ち上げを計画している。

(加藤隆) 微分断面積のデータベースを

(池田) ほとんどのソフトで使っていない。本当はそこまで考慮した方がよい。

(田中) 電気学会のデータベースも使っていた。電子衝突のデータ。電気学会と独立して活動をしているのは、ユーザーからみて違和感がある。一緒に連携してゆけないのか？電気学会にもデータの不備がある。与えられたプロセスガスについて、いくつもの解離種が含まれるデータセットが必要。

(池田) 電気学会以外のデータベース活動は？

(田中) 文科省や経産省から予算措置が見込めるのか？

(鈴木) 韓国の NFRI の一研究部門がデータベースを行っている。

(池田) 韓国は法人税が安い。研究開発に投資しやすい。

(加藤隆) 日本は危機感がないのでは？

韓国はデータ収集、データ評価、データベース公開をかなりシステムティックに進めている。日本で同じような活動ができるのか？

予算的サポートがしっかりしているからできるのだろう。

閉会のあいさつ (鈴木)

特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム 平成 23 年度定期総会議事録

- 1 日 時 平成 23 年 6 月 22 日 13 時 30 分から 17 時 00 分まで
- 2 場 所 核融合科学研究所 研究 I 期棟 4 階 401 会議室
- 3 出席者数 21 人（うち書面表決者 1 人、表決委任者 8 人）
- 4 審議事項
  - (1) 議長選任の件
  - (2) 議事録署名人の選任の件
  - (3) 第 1 号議案 平成 22 年度事業報告の件
  - (4) 第 2 号議案 平成 22 年度決算報告の件
  - (5) 第 3 号議案 平成 23 年度事業計画の件
  - (6) 第 4 号議案 平成 23 年度収支予算書の件
  - (7) 第 5 号議案 平成 23 年度～24 年度役員 の件
  - (8) 第 6 号議案 分科会設置に向けた作業部会の設置の件
  - (9) 今後のフォーラムの事業、活動方針についての討論
- 5 議事の経過の概要及び議決の結果
  - (1) 議長に 佐々木明 が全会一致で選出された。
  - (2) 議長より、議事録署名人を 田沼肇、坂上裕之を選任したいとの提案があり、承認された。
  - (3) 理事長より、平成 22 年度事業報告があり、審議の結果、全会一致で承認された。
  - (4) 理事長より、平成 22 年度決算報告があり、審議の結果、全会一致で承認された。
  - (5) 理事長より、平成 23 年度事業計画があり、審議の結果、「原子分子データ応用フォーラムセミナー」の講演資料集及び CD 製作の費用等について一部修正の後、全会一致で承認された。
  - (6) 理事長より、平成 23 年度収支予算書について説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。
  - (7) 理事長より、平成 23 年度～平成 24 年度役員（任期：平成 23 年 7 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）の選出について提案があり、理事長 鈴木（村上）泉、副理事長 佐々木明、理事 加藤隆子、監事 田辺正孝を選出した。なお、役員の再任制限等に関して今後検討することとなった。
  - (8) 池田圭（株式会社アテナシス）氏より、「プラズマシミュレーションに用いるレート係数の推算方法の調査に対する分科会」の設立について趣旨説明があった。議長から、同分科会の設立のための作業部会の立ち上げについて提案があり、審議の結果、全会一致で承認された。

- (9) 今年度の「原子分子データ応用フォーラムセミナー」の開催内容等について討論を行った。プロセスプラズマの原子分子データ活動の世界的動向について情報交換を行った。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 23年 7月 1日

議長

印

議事録署名人

印

同

印